

## ペダルを逆回転させるとギヤチェンジする自転車（1938年頃）



ペダルを逆回転させるとどうなるでしょうか。日本の自転車のほとんどは空回りしますが、ヨーロッパの自転車にはブレーキがかかる仕組みになっているものもあります。

ところがこの自転車はギヤが変わるのです。1本のチェーンが後輪に付いている大小2枚のギヤにかかっています。ペダルを前に踏むと小さいギヤが回転し、ペダルを逆回転するように踏むと大きいギヤが回転します。2枚のギヤは互いに独立して動き、一方のギヤが回転しているときには他方のギヤは空回りします。

フランスのイロンデール社が1903年から1938年頃まで販売していましたが、3枚以上のギヤでも効率的で使いやすいチェンジギヤ機構が開発されるとその姿は消えました。

自転車文化センター 谷田貝一男